

## 重点政策（政策評価）の見方

### 重点政策 5

#### 世田谷の文化の創造と知のネットワークづくり

重点政策名

#### (1) 政策目的

文化・芸術・歴史・スポーツを多世代で楽しむ都市をめざします。

基本計画における重点政策を達成するため、当政策が目指す姿を記載

#### (2) ロジックモデル

アウトプット (新実施計画事業)	取組み方針	アウトカム (成果指標)	インパクト (政策目的)
308 文化・芸術・歴史資源の魅力発信と子どもの創造性の育み (p238) 〈生活文化政策部〉	①区民が生涯を通じて学び、文化・芸術・歴史に親しめる環境づくり	1. 文化・芸術に親しめる環境の区民満足度 2. 成人の週1回以上のスポーツ実施率	文化・芸術・歴史・スポーツを多世代で楽しむ都市をめざす。
315 まちなか観光の推進 (p275) 〈経済産業部〉			
213 知と学びと文化の情報拠点としての新たな図書館の創造 (p197) 〈教育委員会事務局〉	②多世代が集う図書館を情報拠点とした、文化の創造と知のネットワークづくり		
309 地域での生涯を通じたスポーツの推進 (p244) 〈スポーツ推進部〉	③総合型地域スポーツ・文化クラブの新規設立や既存クラブの支援、障害者スポーツの推進など、だれもがスポーツに親しめる機会を創出		

「政策目的」、「成果指標」、「4年間の取組み方針」、「重点政策を構成する新実施計画事業」を体系化し、政策目的の達成に至るまでの道筋を記載

#### (3) 政策の成果

成果指標	策定時 平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度) 目標	令和3年度(2021年度) 目標に対する達成状況※
1. 文化・芸術に親しめる環境の区民満足度	政策の成果を測る成果指標及び令和3年度目標に対する達成状況を記載					
2. 成人の週1回以上のスポーツ実施率	47.3%	42%	51.6%		60%	33.9%    △

※○：令和元年度末時点での目標を達成した

△：目標達成に至らなかった

新実施計画（後期）の4年間で積み上げたい目標値に対して、当該年度時点でどこまで達成できたかを記載  
原則、以下の計算式で算出する。  
(当該年度の実績－策定時の値) / (4年後の目標値－策定時の値)

## 重点政策（政策評価）の見方

### (4) 成果の達成度に対する評価等

#### 1) 横断的連携の取組みに対する評価

①区内外への文化・芸術の魅力の発信（生活文化政策部、経済産業部）
<b>連携の内容</b> 東京 2020 大会を見据え、4 か国語のせたがや文化マップを発行し、三軒茶屋観光案内所や区内の観光情報コーナー、東京都庁の東京観光情報センターなどに配架した。また、観光ホームページ「エンジョイ！SE TAGAYA」（世田谷区産業振興公社）で多言語版のせたがや文化マップを掲載した。
<b>成果</b> 配布先を拡充したことにより、より多くの方に活用され、世田谷の文化の魅力を外国人に発信する機会を拡充することができた。また、外国人をはじめとする観光客に対する文化の魅力の発信に繋がった。
<b>課題・今後の進め方</b> 情報の発信について、冊子の発行をはじめ、ホームページでの周知、世田谷デジタルミュージアムへの掲載等も行っているが、より多くの人に知ってもらうため、それ以外のデジタル媒体の活用も図っていく。
②郷土を知り次世代へ継承する取組み（教育委員会事務局、政策経営部、生活文化政策部、経済産業部、都市整備政策部、みどり33推進担当部）
<b>連携の内容</b> a) 世田谷デジタルミュージアムにせたがや文化マップや名木百選等を連動させたコンテンツを作成した。 b) 世田谷区の地域資源を活かした事業のあり方検討を踏まえ、せたがや文化財団が企画・実施している事業を活用し、乳幼児を対象とした文化・芸術体験事業を試行した。
<b>成果</b> a) 文化マップ等の情報を連動させたコンテンツを作成することにより、世田谷の歴史や文化等の様々な情報を閲覧することが可能となり、効果的に情報を発信することができた。 b) 乳幼児が文化・芸術に触れ、非認知的能力を育むための環境づくりの一環となった。
<b>課題・今後の進め方</b> a) 引き続き世田谷デジタルミュージアムを活用し、世田谷の歴史や文化に興味・関心が薄い層へのアプローチを積極的に行う。 b) 乳幼児が文化・芸術に触れられる環境づくりをさらに進めるため、内容の多様化や地域と連携した取組みの検討と調整を図る。

政策の推進に向け、新実施計画（後期）で掲げた横断的連携により進める取組みについて、「連携の内容」、「成果」、「課題・今後の進め方」を記載

#### 2) 参加と協働の取組みに対する評価

①区民と協働して世田谷の魅力を発信するせたがや歴史文化物語の取組み
<b>協働の内容</b> 区民と協働したワークショップにより文化財や歴史等の冊子を作成し、区内文化施設や観光関連施設等で配布した。
<b>成果</b> 区民が求める情報を抽出した冊子を作成することにより、より効果的にせたがやの歴史や魅力の情報発信をすることができた。
<b>課題・今後の進め方</b> 冊子による情報発信のほか、さらに歴史文化の継承を図るためインターネットでの情報発信の強化を図る。
②民間文化施設等との連携
<b>協働の内容</b> 世田谷美術館と民間の五島美術館、静嘉堂文庫美術館と連携し、観覧チケットの相互割引を行った。
<b>成果</b>
政策の推進に向け、新実施計画（後期）で掲げた区民・事業者との参加と協働により進める取組みについて、「協働の内容」、「成果」、「課題・今後の進め方」を記載

## 重点政策（政策評価）の見方

### 3) 成果の達成状況に対する評価及び今後の政策展開

#### ○各成果指標の達成状況

文化・芸術に親しめる環境の区民満足度については、目標策定時を下回る状況が続いており、成果が不十分である。

成人の週 1 回以上のスポーツ実施率については、前年度を上回っており、だれもがスポーツに親

各成果指標の「令和 3 年度（2021 年度）目標に対する達成状況」を踏まえた評価を記載

#### ○各取組みの達成状況

文化・芸術・歴史に親しめる環境づくりにおいては、観光情報コーナーや世田谷デジタルミュージアムなどの情報発信手段を活用することで、区内外への世田谷の文化の魅力発信に向けた取組みを進めることができた。

知と学びと文化の情報拠点としての図書館の充実においては、区民の課題解決を支援する柱であるレファレンスについて、図書館活用講座等のイベントの開催、様々な情報媒体を利用した周知によ

各取組みの達成状況を踏まえた評価を記載

#### ○課題と今後の政策展開

区民が広く文化・芸術・歴史に親しめる環境づくりに向けては、ICT化の進展や外国人人口の増加などに伴う情報の受け手の多様化を踏まえ、効率的かつ的確な情報発信を図ることが課題となっている。また、だれもがスポーツに親しめる機会を創出するため、総合型地域スポーツ・文化クラブの新規設立に取り組んでいるが、クラブの趣旨や目的の明確化、新規設立の進め方について関係者の共有を図ることが課題となっている。

こうした課題を踏まえ、今後の政策展開として、文化芸術に関する広報戦略の見直しによる自宅で文化・芸術に触れることができる情報発信、図書館のレファレンスサービスの充実、総合型地域スポーツ・文化クラブの新規設立に関する区の方針策定、共有などに取り組む。

各成果指標や取組みの達成状況を踏まえた政策の目的達成に向けた課題と今後の政策展開を記載